

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】参考書式例037

施設名	三ツ森児童館		
管理者名	特定非営利活動法人 新潟県ワーキングウーマン・サポートセンター	指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日
担当課	北区健康福祉課		
所在地	新潟市北区高森429番地		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積 454.28平方メートル、延床面積235.67平方メートル 建物構造 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容） 児童クラブ室（38.88平方メートル）、図書室（20.25平方メートル）、遊戯室（95.58平方メートル）、事務室（20.25平方メートル）、他		

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
1 地域児童に健全な遊びを提供し、その心身を健やかに育成するとともに保護者等による地域組織活動の育成助長を図る。 2 地域の乳幼児と保護者のために必要な遊びの場や情報の提供などを行い、子育てを支援する。 3 学校等、児童に関わる諸機関と連携を密にして、児童をはじめ地域住民に親しまれる施設とする。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。	年間利用者数 13,895人 1日平均48人	B	・年間利用者数は昨年度比△12% ・乳幼児利用者数昨年度比+16.1%
	地域との連携	地域コミュニティや小中学校との事業共同開催	99回	A	・昨年度実施回数63回より大幅増加
	満足度	利用者(保護者)アンケートで「満足」が多数であるか	98%	A	満足度が非常に高い
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	苦情なし 対応マニュアルは整備されている	A	
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか * 光熱水費: 25年度光熱水費実績×高騰分(+3%)×開館時間延長分(+0.013%)と比較	光熱水費昨年度比+12%	B	
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	遵守した	B	仕様書等に定める事項を遵守している
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	事業計画実施率100%	B	年間活動計画を確実に実施した
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	緊急時対応マニュアル策定 避難訓練2回実施	A	避難訓練等を計画的に実施し、事故等にも適切に対応した。
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	37回延べ43人参加	A	職員すべてが研修に参加し昨年度21回より増加
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

地域に根ざした児童館となるよう事業展開をしてきた。職業的倫理観に基づき地域において子育ての支援に携わる大人として人間性と専門性の向上に努めた。地域の健全育成に携わる人々、関係機関と連携を図った。保護者に子どもの様子を客観的・継続的に伝え、保護者の気持ちに寄り添い親しみと信頼関係が築けるよう日々努力した。今年度は乳幼児親子の事業の充実を図り、楽しく子育てが出来るよう支援してきた。子育ての仲間作りが進み、児童館を拠点として母親同士が繋がり、乳幼児親子の来館数が増加した。光熱水費の削減にはかなり努力したが、消費税増税に伴い増加の結果となった。引き続き努力していきたい。来館者が気持ち良く過ごせる環境作りをしながら、経費削減をしていきたい。地域の児童の安心、安全を守り、子どもの最善の利益を守る援助者として豊かな人間性と専門性を保持、向上することに努め、地域の人達との信頼関係を築き事業の内容も更に充実したものにしていきたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

児童館4館一体管理での改善点を踏まえ、4館相互の情報共有を図りながら、効率的な運営を進めることができた。来館者は減少したが、乳幼児来館者数が昨年度より増加し、乳幼児向けの事業展開を図った成果を得たことが評価できる。また、地域関係者との連携事業を昨年度より多く実施し、地域に根付いた児童館としての役割を十分に果たしている。研修も充実し人材育成にはげんでいる。施設管理では定期的に巡回し、修繕を行った。日常的な清掃は職員が行い、環境整備に努めた。管理経費節減について、光熱水費が昨年度から増加傾向にあるが、今年度は乳幼児の来館が増加し快適な環境づくりに努めたことによる影響も増加要因として考えられるため、この努力のほうを評価したい。次年度は第一目的である来館者増加との兼ね合いを図りながら、削減について創意工夫された上結果を求めたい。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】参考書式例037

施設名	早通児童センター		
管理者名	特定非営利活動法人 新潟県ワーキングウーマン・サポートセンター	指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日
担当課	北区健康福祉課		
所在地	新潟市北区早通37番地1		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積 約500平方メートル、延床面積336.88平方メートル 建物構造 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容）集会室（44.50平方メートル）、図書室（38.70平方メートル）、体育遊戯室（145.76平方メートル）、事務室（18.45平方メートル）、他		

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
1 地域児童に健全な遊びを提供し、その心身を健やかに育成するとともに保護者等による地域組織活動の育成助長を図る。 2 地域の乳幼児と保護者のために必要な遊びの場や情報の提供などを行い、子育てを支援する。 3 学校等、児童に関わる諸機関と連携を密にして、児童をはじめ地域住民に親しまれる施設とする。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。	年間利用者数 16,831人 1日平均57.4人	A	12.8%増加
	地域との連携	地域コミュニティや小中学校との事業共同開催	87回	B	昨年度84回
	満足度	利用者(保護者)アンケートで「満足」が多数であるか	99%	A	満足度が非常に高い
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	苦情なし 対応マニュアルは整備されている	A	
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか * 光熱水費:25年度光熱水費実績×高騰分(+3%)×開館時間延長分(+0.013%)と比較	光熱水費昨年度比+1.9%	B	
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	遵守した	B	仕様書等に定める事項を遵守している。
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	事業計画実施率 100%	B	年間活動計画を確実に実施した
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	緊急時対応マニュアル策定 避難訓練4回実施	A	避難訓練等を計画的に実施し、事故等にも適切に対応した。
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	19回延べ20人参加	A	職員すべてが研修会に参加
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

地域との連携については地域コミュニティ、小中学校、地域クラブ、婦人会等の協力をいただき、事業の共催ができた。今年度は光熱水費が増加したが、来館者の安全や快適さを損なわないよう削減できるよう工夫していきたい。行事の実施は仕様書通りに実施したがより良い内容にしていく内容を検討していく。来館者が非常に増加しているが、子どもたちの居場所であり、さまざまな体験ができる場所、そして地域の方たちと繋がる場所としての健全育成施設を目指して努力していきたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

児童館4館一体管理での改善点を踏まえ、4館相互の情報共有を図りながら、効率的な運営を進めることができた。今年度も昨年度に引き続き来館者が非常に増加し、運営努力の成果が得られていることは高く評価できる。地域関係者との連携も強化し、地域に根付いた児童館としての役割を十分に果たしている。施設管理では定期的に巡回し、修繕を行った。日常的な清掃は職員が行い、環境整備に努めた。管理経費節減について、光熱水費が昨年度より増加したが、来館者が大幅に増加した中で快適な環境づくりに努めたことによる影響も増加要因として考えられるため、この努力のほうを評価したい。次年度削減できるよう創意工夫を求めたい。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】参考書式例037

施設名	葛塚東児童館		
管理者名	特定非営利活動法人 新潟県ワーキングウーマン・サポートセンター	指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日
担当課	北区健康福祉課		
所在地	新潟市北区太田甲5762番地1		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積 1,367.53平方メートル、延床面積353.89平方メートル 建物構造 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容）集会室（60.35平方メートル）、図書室（43.02平方メートル）、遊戯室（118.15平方メートル）、事務室（19.73平方メートル）、他		

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
1 地域児童に健全な遊びを提供し、その心身を健やかに育成するとともに保護者等による地域組織活動の育成助長を図る。 2 地域の乳幼児と保護者のために必要な遊びの場や情報の提供などを行い、子育てを支援する。 3 学校等、児童に関わる諸機関と連携を密にして、児童をはじめ地域住民に親しまれる施設とする。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。	年間利用者数 14,770人 1日平均50.4人	B	・年間利用者数昨 年度比+0.4% ・小学生利用者数 昨年度比+5.5%
	地域との連携	地域コミュニティや小中学校との事業共同開催	44回	A	
	満足度	利用者(保護者)アンケートで「満足」が多数であるか	96%	A	満足度が非常に高い
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	対応マニュアルは整備されている	A	
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか * 光熱水費:25年度光熱水費実績×高騰分(+3%)×開館時間延長分(+0.013%)と比較	光熱水費昨年度比+18%	B	
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	遵守した	B	仕様書等に定める事項を遵守している。
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	事業計画実施率 100%	B	年間活動計画を確実に実施した
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	緊急時対応マニュアル策定 避難訓練2回実施	A	避難訓練等を計画的に実施し、事故等にも適切に対応した。
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	26回延べ26人参加	A	職員すべてが研修会に参加
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

児童センター、博物館等施設が隣接するなかで利用者のニーズを意識した企画運営を行い児童の集客につなげてきた。地域に根付いた児童館として地域との交流事業を多く実施し地域ボランティアの育成・活用をはかった。「仕様書等に定める事項の遵守」「行事の実施」については児童館本来の役割を意識し内容の充実を図り来館数増加につなげていきたい。管理経費については職員全体で削減の意識を高め努力していきたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

児童館4館一体管理での改善点を踏まえ、4館相互の情報共有を図りながら、効率的な運営を進めることができた。年間利用者は微増だったが、小学生利用者が昨年度より増加し、小学生向けの事業展開が成功した結果と言える。また、地域関係者との連携事業を昨年度より多く実施し、地域に根付いた児童館としての役割を十分に果たしている。施設管理では定期的に巡回し、修繕を行った。日常的な清掃は職員が行い、環境整備に努めた。管理経費節減について光熱水費が増加したが、今年度は特に小学生の来館が増加したことも光熱水費の増加要因として考えられるため、この努力のほうを評価したい。次年度は、第一目的である来館者増加との兼ね合いを図りながら、削減について創意工夫された上結果を求めたい。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】参考書式例037

施設名	豊栄児童センター		
管理者名	特定非営利活動法人 新潟県ワーキングウーマン・サポートセンター	指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日
担当課	北区健康福祉課		
所在地	新潟市北区東栄町2丁目14番26号		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積 2,094.87平方メートル、建築面積612.26平方メートル、延床面積519.15平方メートル 建物構造 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容）ボランティア室（28.60平方メートル）、集会室（38.22平方メートル）、図書と映像の部屋（30.16平方メートル）、体育遊戯室（191.40平方メートル）、創作の部屋（38.58平方メートル）、事務室（31.83平方メートル）、他		

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
<ol style="list-style-type: none"> 1 地域児童に健全な遊びを提供し、その心身を健やかに育成するとともに保護者等による地域組織活動の育成助長を図る 2 地域の乳幼児と保護者のために必要な遊びの場や情報の提供などを行い、子育てを支援する。 3 学校等、児童に関わる諸機関と連携を密にして、児童をはじめ地域住民に親しまれる施設とする。 4 中学生・高校生については、ボランティア活動など、目的をもった活動の育成・支援を行い、地域社会と協力連携しながら、社会的活動の拠点としての機能を有する施設とする。 5 大型児童センターとして、北区全体の児童が参加できる事業を盛り込んだ運営を行う。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。イベントや行事等について北区全体からの参加があるか。	年間利用者数 36,079人 1日平均100.8人 区内全小学校からの利用者あり	A	・年間利用者数昨年度比+8.9% ・中学生利用者数昨年度より2,830人増加
	広報	ホームページやセンターだより等で行事等の情報提供がされたか	センターだよりのHPへの掲載 センターだより毎月発行	A	区内全小学校への配布など広報に努めた
	満足度	利用者(保護者)アンケートで「満足」が多数であるか	96%	A	満足度が非常に高い
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	対応マニュアルが整備されている	A	迅速に対応した
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか * 光熱水費:25年度光熱水費実績×高騰相当分(+3%)と比較	光熱水費+0.67%	B	
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	遵守した	A	地域組織との連携事業について計画外の事業への協力も多数行った
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	事業計画実施率 100%	A	年間活動計画を確実に実施した
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	緊急時対応マニュアル策定 避難訓練2回実施	A	夜間防災訓練も実施
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	46回延べ58人参加	A	職員すべてが研修会に参加
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

児童センターの開館から6年、大型児童センターの役割として地域全体へのアプローチをした。児童館ガイドラインをしっかり学び、地域の親のグループの育成、小中高生、地域ボランティアの方々の育成、地域の団体、機関との連携協力をし、子どもたちの自主的な遊びや交流を図り地域の健全育成の中心となるよう事業・活動・運営の体勢を整えることができた。地域組織活動が活発になり、保護者や地域の方の積極的な活動が増えた。子育て講座等でつながった母親同士が小学生の遊びの指導など健全育成に関わることができ、親と子どもたちの関係が児童センターの中でうまく循環するようになった。また職員のスキルを大いに発揮し子育て支援事業に力を入れ、地域の子どもたちを育てる親への支援の質を高め安心して子育てができるよう信頼を得てきた。地域の中のセンターとしての定着も見られるようになり、子どもたちも親も来館時に相談する姿が増えた。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

児童館4館一体管理での改善点を踏まえ、4館相互の情報共有を図りながら、効率的な運営を進めることができた。北区全体を見渡す大型児童センターとして、小学生のほか、乳幼児、中学生・高校生に至るまで幅広く事業を展開し、利用拡大に努めた。小学生の利用に関しては来館が困難な北地区の児童のため今年度もバス運行を実施し、多くの参加を得て全小学校区からの来館に結びつけている。今年度は特に中学生の利用者数が昨年度の2倍以上となり、多感な年代への対応や支援が成功している結果と言え、大型児童センターとしての役割を十分に果たしたことは非常に高く評価できる。地域とも連携を図り、幅広い事業の実施に取り組んだほか、区主催の子育て事業にも積極的に協力した。施設管理では日常的な清掃や軽微な修繕を職員だけでなくボランティアの協力も得て行い、環境整備に努めた。管理経費節減についても工夫し努力している。来館者増加による対応との兼ね合いを図りながら経費節減に努めていただきたい。